



ゆう ゆう かもめ
友 ☺ 湯 鳴

荒浜地区まちづくり協議会 会報 第8号

★巨理町の将来像★

思いやりの心で力を合わせ

安全で安心できる豊かなまち 巨理

発行日 平成 25 年 3 月 31 日
 編集 荒浜地区まちづくり協議会
 住所 巨理町荒浜字中野 33 (勤労青少年ホーム内)
 電話 0223-36-8189
 F A X 0223-36-8190
 Email wa.tukur.i.ara@iaa.itkeeper.ne.jp

荒浜の各町内会の改編が進行中です

3月には各行政区で町内会総会が実施されて、行政区の編成見直しや統合の動きが活発に行われました。災害危険区域に指定された五丁目地区と築港地区については、新行政区の見直しに合わせて、一丁目から五丁目までを統合し、(仮称)「あぶくま」町内会となり、築港が港町に統合されることになりました。改編と統合される町内会に於いては解散総会が行われ、総会後の懇親会ではトン汁や白蒸かしが振舞われ、思い出話に花が咲き大変な盛り上がりを見せました。

一方では、各地区の集団移転や災害復興住宅など今後の生活基盤に不安を隠せず涙ぐむ人も数多く見受けられました。また、築港区では、今まで町内会のために長きにわたって尽力された区長さんに感謝の花束を贈呈して約70年の築港地区の歴史に幕を閉じました。



築港町内会の解散総会の様子

大震災によって、やむなく、住み慣れた荒浜の地を離れる方々や災害危険区域に指定され集団移転する方々の不安や悲しみは、いかばかりかと思えます。願わくは今は辛くても、一歩前に進むことで幸多かれと祈るばかりです。

1月10日は110番の日

1月8日に中央工業団地仮設住宅集会所で巨理警察署・荒浜駐在所合同で9名の署員による110番教室が開催されました。参加者は真剣な表情でスクリーン映像を見ながら悪質な詐欺の手口等の話を聞いたり、署員が扮する犯人役の寸劇で住民が警察に通報する模擬体験をしました。イザという時は迷わず110番しましょう。終了後のお楽しみ餅つき大会は、荒浜地区まちづくり協議会が餅つきの道具ともち米を準備し、参加者や署員の「よいしょ！よいしょ！」の掛け声と笑い声がこだましてとても賑やかでした。



呼吸を合わせて「よいしょ！」

ありがとう 懐かしい学び舎 さようなら



1月12日(土)保護者代表の大友さん・武田さんを始め荒浜中在校生や卒業生の方々の呼びかけにより中学校校舎のお別れの会をしました。集まった関係者の前で、校長先生より「思い出いっぱい校舎は取り壊されますが新校舎が出来る喜びと希望を持ってこれからの荒浜中学校を見守って下さい。」とお別れのあいさつがありました。卒業生からのお別れの言葉や思い出話が披露され、真冬の陽だまりの中で懐かしく聞き入っていました。生徒代表の指揮で、荒浜中学校校歌を合唱した後に、昇降口前で集合写真を撮影し名残り惜しみながら解散となりました。



みんなで餅つきをしたよ!



1月19日(土)荒浜保育所で、「子育て支援事業」親子交流・餅つき大会がありました。餅米は大分県からの支援米を荒浜まちづくり協議会が提供し、臼に入ったホカホカ餅米をこねて、大きな杵を親子で持ち上げ、みんなで楽しく餅つきをしました。とても美味しくいただきました。



東日本大震災復興支援コンサート 神戸からのメッセージ



3月16日(土)日神戸市のボランティアグループが4人の演奏家とともに被災地児童のために、すてきな演奏会を開いてくれました。いずれのピアニストの演奏も聴く人の心の奥深くまで響くようで会場全体がその音色に引き込まれ、珠玉の時間を享受できた瞬間でした。演奏終盤には阪神大震災の辛く悲しかった体験談が披露され、3.11大震災に重ねて思わず涙ぐむ場面も見られました。最後に「花は咲く」の合唱で終了となり、演奏家達は、再来を約束して神戸に戻られました。帰り際には、協議会とピアニストから子供たちにプレゼントがあり、二重の喜びを感じた一日でした。荒浜復興の様子を一日も早くお見せするのが恩返しと思います。



クラシックの名曲を15曲♪

工業団地・映画鑑賞会



1月29日（火）毎月恒例の映画会を開催いたしました。今回は、アットホームドラマ『釣りバカ日誌 19』を上映いたしましたところ、約50名の方々に鑑賞していただきました。ほろりと涙したり大笑いしたり、皆さんと共に楽しい時間を過ごさせて頂きました。

『この次も楽しみにしています。』との声を励みに次回の作品を考えたいと思います。

また次回もお楽しみに・・・



しゃべるっ茶会・映画鑑賞会

2月12日（火）荒浜支所集会室において、しゃべるっ茶会では初めての試みとして映画鑑賞会を行いました。鑑賞する内容は前回の会合で『綾小路きみまろの毒舌漫談』を選び、スクリーンやプロジェクター及びDVDはまちづくり協議会が準備し、今回の映画鑑賞会が実現しました。

当日は、綾小路きみまろ独特の話術に引き込まれ、会場内は笑い声が絶えませんでした。中には笑い過ぎて疲れた参加者もいたようです。

参加者からは、久しぶりに誰にも遠慮せずに、大きな声で笑って良かったと、大好評でした。



第2回 陶芸教室

前回、定員オーバーで参加できなかった方々の強い要望で、2月14日（木）に第2回目の陶芸教室が実現しました。今回は、講師：加藤ひろ子さん・文夫さんのご指導のもとで信楽焼きに挑戦！しました。この日は、バレンタインデーのサプライズとして作品の他に一品「おちょこ」作りのサービスが付きしました。参加した皆さんは俄然テンションが上がり、本来の作品にも熱が入り、素敵なデザインに仕上げていました。

今回もたくさんの方々から申し込みがあり、定員オーバーになりました。お断りした皆様大変申し訳ございませんでした。次回の陶芸教室の日程は未定ですが、支所一階の改修工事が終了し次第、研修室や体育室を使用すれば参加者の定員を増やして開催できると思っておりますので、ぜひ、ご期待ください。

先生の説明を聞いてネ！！



あら！ 上手だわ～！



スクリーン映像



二月二十八日（木）に認知症サポーター養成講座が荒浜支所二階集会室で開催され、亘理地域包括支援センター保健師の星野素子さんから、パンフレットやスクリーン映像で認知症がどんな病気か、上手な対処方法や地域で支える大切さを学びました。また、認知症キャリアバン・メイト渡邊美喜子さんから経験談や具体的な対処法を学び、受講後は「認知症サポーター」としてオンラインリングを受領しました。あなたも、認知症の方やその家族を暖かく見守る活動を行うための認知症サポーター講座に参加してみませんか。

認知症サポーター養成講座って何

鎮魂の塔 厳寒の中の開眼供養



厳寒の中、開眼供養の参加者

二月二十一日（木）午前十時、鎮魂の塔の除幕式を前に、開眼供養を済ませました。この日は、あいにく氷点下二度、強風の厳寒の中での供養に、参加者はまさに身の引き締まる思いで祈願をいたしました。ようやく誰でも手を合わせる場所ができるまでに、すでに二年が経過いたしました。この痛ましい大震災の記録を後世まで記憶し、二度と犠牲者を出さないための一助になればと願わずにはられません。

荒浜地区民の悲願 鎮魂の塔（慰霊碑）

2月24日（日）午前10時より、鎮魂の杜・鎮魂の塔の除幕式が行われました。当初の計画は東日本大震災の三回忌に実施する予定でしたが、町当局の慰霊祭やご遺族におかれては三回忌を迎えること等により、二週間繰り上げて行われました。この日は大寒波が押し寄せて厳しい寒さの中で、正に、身の引き締まる厳粛な除幕式になりました。

鎮魂の杜は、大震災で犠牲になられた方々の慰霊と荒浜の復興を祈願するものとして建立いたしました。建立にあたり、地区民の皆様から浄財を頂きましたことに深く感謝申し上げますとともに、大切に活用させていただきます。

鎌田幸夫会長は式辞の中で『震災で犠牲になられた地区民151名は家族であり、隣近所の方であり、サークルの仲間等、誰もが身近に感じられお世話になった方々です。この鎮魂の杜で、地区民すべての方がご冥福をお祈りする場となることを願っています。ここでお祈りするとき、二度とこのような悲惨な思いをしないように防災や安全について個々人が再考する場ともなるでしょう。犠牲になられた方々の鎮魂と震災の実情、防災に対する安易な考えに対する警鐘を子子孫孫に伝えるため、この地を『鎮魂の杜』と命名して長く語り継いでいきます。』と述べました。

また、引き続き、鎮魂の杜の植樹式も行われ、鎮魂の塔の基礎台座の周囲には町花の山茶花を15本植樹しました。年月をかけて、鎮魂の杜が『森』らしくなるように地区の皆さんと一緒に見守っていききたいものです。

鎮魂の杜 山茶花の植樹



植樹式の齋藤町長と鎌田会長



除幕式の引き綱役の皆さん

お知らせ



総会のご案内

平成25年度
荒浜地区
まちづくり協議会

期日 平成25年5月19日（日）10時
場所 勤労青少年ホーム（荒浜支所）
1階体育室
内容 平成24年度行事報告・決算報告
平成25年度事業計画・予算（案）
その他